

2025年4月21日

矢崎総業株式会社

「人とするまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」に出展 次世代モビリティの発展を支える革新的な製品・技術を展示

矢崎総業株式会社（本社:東京都港区、社長:矢崎 陸）は、5月21日（水）～5月23日（金）、パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区）で開催される「人とするまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」に出展いたします。

近年、自動車産業は電動化、自動運転技術、コネクテッドカーの進化など、急速な変革期を迎えています。特に、SDV（Software Defined Vehicle）の台頭により、ソフトウェアを中心とした車両開発が進み、自動車の機能や価値が大きく変わりつつあります。これらの変化に伴い、高電圧技術や高速通信技術、環境負荷軽減技術など、次世代モビリティを支える基盤技術への需要が高まっています。当社は、自動車用ワイヤーハーネスやメータをはじめとする「つなぐ技術」で培った長年のノウハウを活かし、次世代モビリティの実現に向けたソリューションを提供しています。本展示会の出展コンセプトを「つなぐ技術、未来を創る」とし、次世代モビリティの発展を支える革新的な製品・技術をご紹介します。



<展示テーマと主な展示品>

■ YAZAKI ソリューションモック

・搭載製品（一部）

- ① バスバーや無線 CCS¹など高電圧製品
- ② 照明付きインレット、室内照明
- ③ 高速通信線などの通信製品
- ④ HMI 製品（メータ、HUD、エージェントシステム）



YAZAKI ソリューションモックはクルマが動作する際に、電源・通信・車内外の情報が、ワイヤーハーネス、ECU、センサ等を介して、どのように動いて、どのように乗員に知らせているのかを“可視化”したもので、未来の可能性の1つです。当社は向上する将来モビリティの性能を支え、安心・安全、そして快適なインフラを提供し、モビリティの中、モビリティと人、そしてモビリティと社会をつなぎます。

CCS¹ : Cell Contacting System（セルコンタクトシステム）の略称

■ バッテリーリユース技術『BVTFTERFLY®』

世界的な脱炭素社会の実現に向けて、電動車両の普及が進む一方、使用済み車載電池のリサイクルやリユースなど、適切な処理が大きな課題となっています。特に、様々な環境で使用された車載電池は、劣化状態が異なるため再利用が難しく、効率的な活用方法が求められています。当社は、この社会課題を解決するため、独自アルゴリズムと制御技術を用いたリユース蓄電システム用製品、『BVTFTERFLY®』の開発を進めてきました。

2025年1月から静岡県裾野市にて実証実験を開始し、技術的な成立性、及び運用性能を確認しています。

- ① 独自アルゴリズムの有効性
- ② 電池異常検出と制御機能

上記2点を重点的に検証し、実用化に向けたデータ取得を進めて、産業用や系統用等の蓄電システムへの実用化を目指します。今後も、持続可能な社会の実現に貢献する技術開発を進めてまいります。



当社は、自動車メーカー様や自動車サプライヤー様、そして新たな協業先となり得る企業様、さらにはメディアの方々との交流を深めたいと考えています。当社ブースでは専門スタッフが常駐し、お客様の課題解決や新規プロジェクトに関するご相談を直接承ります。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。ぜひお立ち寄りください。

人とするテクノロジー展 2025 YOKOHAMA 開催概要

【会場/会期】

■ ONLINE STAGE 1(オンライン展示会サイト)
2025年5月14日(水)～6月4日(水)

■ パシフィコ横浜

2025年5月21日(水)～5月23日(金)

【主催】 公益社団法人自動車技術会

【URL】 <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/>

本件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒410-1194 静岡県裾野市御宿 1500
Tel.055-965-3002

[お問い合わせフォームはこちら](#)